

研究課題名	機械学習を用いたドパミントランスポーターSPECTによるパーキンソン病患者の非運動症状の予測
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 脳神経内科 氏名 一條真彦
研究期間	臨床研究倫理審査承認日 ～ 2025年 12月
研究の意義・目的	近年パーキンソン病の病理学的特徴である α シヌクレイン封入体の伝播は、身体先行型と脳先行型の2つのサブタイプが提唱された。これらのサブタイプでは、脳のドパミントランスポーターSPECT (DAT) の集積パターンが異なっており、DATの集積パターンは α シヌクレイン封入体の伝播のパターンを反映していると考えられる。 本研究では、既存の臨床スケールを用いて非運動症状を網羅的に把握し、DATを用いた機械学習モデルを構築することで、非運動症状とDATの関連性を明らかにする。
研究の方法 (対象期間含む)	データ抽出対象期間：2022年04月～2025年12月 研究期間：臨床研究倫理審査承認日～2025年12月 研究デザイン：通常の診療で既に取得された質問票・診療情報を用いた横断研究。 予定対象者数：120名程度 評価項目：患者基本情報（年齢・性別・薬歴等）、非運動症状、ドパミントランスポーターSPECT
①試料・情報の利用目的および利用方法 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③試料・情報の取得の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①試料・情報の利用目的および利用方法：上記 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目： 患者基本情報：年齢、性別、診断名、病歴、薬剤使用歴 非運動症状評価表：各項目の得点 ドパミントランスポーターSPECT：特異的結合比、撮像日 ③試料・情報の取得の方法 通常の診療で既に取得された質問票・診療情報より抽出・取得 ④利用する者の範囲 武蔵野赤十字病院 脳神経内科 研究責任者 研究分担者 ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 武蔵野赤十字病院 脳神経内科 副部長 一條 真彦 ならびに武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経内科 氏名 一條真彦 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525

